

審査基準日以前に受けた最新の評価日を記入
します。

(用紙A4)

令和 3 年 8 月 1 日

技能者名簿

通番	氏名	生年月日	評価日	レベル 向上の有無	控除対象
1	宮崎 建次郎	S59.1.3			
2	小林 建五郎	S57.12.31			
3	高岡 建六郎	S31.1.5			
4	西都 建七郎	S30.1.6	H30.4.1		○
5	高鍋 建八郎	S29.1.7	R2.4.1	○	
6	日向 建九郎	S28.1.8	R2.10.1	○	
7	美郷 四郎	S35.4.30	R3.4.1	○	
8	椎葉 五郎	S40.5.2			

左記に記入した技能者のうち、審査基準日の3年前の日以前に能力評価基準により評価が最上位の区分(レベル4)に該当するとされた者に"○"を付けます。

左記に記入した技能者のうち、審査基準日以前3年間に、能力評価基準により受けた評価の区分が、審査基準日の3年前の日以前に受けた最新の評価の区分より1以上上位となった者に"○"を付けます。
なお、能力評価基準による評価を受けていない場合は、レベル1として審査されるため、初めて評価を受け、レベル2以上に認定された者もレベル向上者に含みます。

< この様式の記入対象となる者 >

以下の (I) (II) のいずれも満たす者を記入します。

※ 該当者がいない場合又はCPD単位取得者もレベル向上者もともに0人の場合は、当様式は作成不要です。

(I) 審査基準日以前に6か月を超える恒常的な雇用関係があり、かつ、雇用期間を特に限定することなく常時雇用されている者(役員、個人事業主を含む)

(II) 審査基準日における許可を受けた建設業に従事する職員のうち、審査基準日以前3年間に建設工事の施工に従事した者(施工体制台帳の作業員名簿を作成する場合は、建設工事に従事する者として氏名が記載される者)。ただし、建設工事の施工の管理のみに従事した者を除く。

※ 施工体制台帳の作成義務がない建設工事のみ従事した者であっても、上記 (I) (II) のいずれも満たす場合は対象となります。(施工体制台帳の作業員名簿に登録された者のみに限定されるわけではありません。)

合計	8 (人)	3 (人)	1 (人)
----	-------	-------	-------

記載要領

- 別紙三の項番62の「技能者数」と一致します。
- 別紙三の項番62の「技能レベル向上者数」と一致します。
- 「評価日」の欄には、技能者が審査基準日以前において認定能力評価基準により評価を受けている場合、その最も新しい評価を受けた日を記載すること。
- 「レベル向上の有無」の欄には、審査基準日以前3年間に、能力評価基準により受けた評価の区分が、審査基準日の3年前の日以前に受けた最新の評価の区分より1以上上位であった者に該当する場合に、○印を記載すること。
- 「控除対象」の欄には、審査基準日の3年前の日以前に能力評価基準により評価が最上位の区分に該当するとされた者の場合に、○印を記載すること。
- 本表の最後の行には、作成対象となる技能者、「レベル向上の有無」の欄に○印が記載された者、「控除対象」の欄に○印が記載された者、それぞれの合計人数を記載すること。

→ 別紙三の項番62の「控除対象者数」と一致します。